令和7年度在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業計画

資料3

目指す姿	事業名	内容
①在宅療養・認知症支援の基盤が整備され、場面に応じた切れ目のないサービスの提供体制が構築される。（日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り・認知症の初期段階等）	在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会	在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会を年3回開催し、現状の把握と課題の抽出、実施事業の検討・評価を行う。 第1回：令和7年　5月22日(木) 第2回：令和7年　10月9日(木) 第3回：令和8年　2月5日(木)
	課題別ワーキング	2テーマで実施予定 【認知症支援】 ・認知症みまもり訓練に向けた検討 【介護施設での救急時連携・看取り】 ・介護施設における急変時の対応や関係者との連携、看取りやACPについて
	「在宅医療後方支援制度」の運用	・病院関係者意見交換会の開催 ・制度の周知啓発（市内・市外在宅医療実施医療機関）
	「認知症初期集中支援チーム」の活動	・医療・介護関係者にチームの活動について周知を行う
	〈認知症当時者支援・家族支援体制の構築〉 「家族介護教室」の開催 「本人ミーティング」の開催 「お楽しみ処（認知症カフェ）」の開催 認知症パートナーの養成・活動（チームオレンジ）推進	・家族介護教室の開催（年1回） ・お楽しみ処（認知症カフェ）開催協力：西白井（第1水曜・第3木曜）、池の上（第1・第3火曜）で開催。 ・認知症パートナー養成講座開催（10月）：各認知症支援活動へ認知症パートナーをつなぎ、各活動の活性化を図る。 ・チームオレンジ活動の推進：（お元気みまもり事業を通して、認知症状で閉じこもりがちな家庭に訪問し、玄関先での交流を図っていく。）
	認知症支援体制の評価	・認知症支援体制の評価方法の検討（認知症当事者の意見を反映）

目指す姿	事業名	実施内容
②医療・介護職の顔の見える関係構築ができ、資質向上が図れる。	多職種連携研修会	・地域の医療・介護等の関係者向けに顔の見える関係づくりを目的に研修会を開催する。年2回予定。うち1回は入退院時連携に関する研修会の予定。残り1回はテーマ未定。

目指す姿	事業名	実施内容
③医療・介護・行政等関係者の連携ルールが作られ、情報共有ツールが普及し、関係者間で共有される。	救急医療情報キット、介護施設用シートの配布、運用	・救急医療情報キットの配布、各地域包括センターやなるほど行政講座、広報紙での周知（継続） ・消防本部、印西市、白井市担当者による打合せ（年1回） ・市内消防、地域包括支援センター、白井市担当者による打合せ（年1回）
	多職種連携情報共有システム（ICT）の普及	・システム運用上の課題の把握、対策の検討 ・システムの普及啓発を目的に医療・介護関係者を対象に説明会や活用体験会を実施。
	徘徊保護高齢者に関する 警察との連携体制の構築	警察からの情報提供に基づき、地域包括支援センターと連携し徘徊保護高齢者の支援を行う。

目指す姿	事業名	実施内容
④認知症、在宅医療、在宅看取りなどについての普及啓発を行い、市民の理解が進む。	「終活支援ノート」の配布、「終活支援講座」の開催	【終活支援ノート】 ・地域包括支援センター窓口にて配布を継続。 ・居宅介護支援事業所や公民館等に配架し周知を行う。 【終活支援講座】 ・なるほど行政講座のメニューに位置付け、依頼に応じて地域包括支援センターと協力しながら開催する
	「認知症周知啓発月間」 「認知症サポーター養成講座」	・懸垂幕の設置、図書館等情報コーナーの設置 ・認知症サポーター養成講座：小学校、高校で開催他随時開催 ・認知症みまもり訓練の実施

目指す姿	事業名	実施内容
⑤在宅医療・介護連携、認知症に関する相談窓口が整備され、市民や医療・介護関係者への相談支援体制が整う。	「認知症ガイドブック」に認知症に関する相談先の情報を掲載	・窓口相談、講座開催時に周知 ・9月の周知啓発月間に併せて周知実施 ・メール・HP・SNS配信
	医療・介護関係者からの在宅医療に関わる相談対応の実施 ※高齢者福祉課および地域包括支援センター	市外も含めた医療資源（訪問診療、訪問看護等）の情報整理を行い、医療・介護関係者からの相談時に活用できる体制を整える。
	「地域包括支援センター」の周知啓発	65歳以上の方の総合相談窓口として市民に認識してもらえるよう、市ホームページ等、継続して周知に取り組む。